

天皇誕生日祝賀レセプションにおける日本酒の魅力発信（NZ、オークランド）

開催日：令和7年2月21日

場 所： 在オークランド総領事公邸

主 催： 在オークランド総領事館

当館ウェブサイトおよびSNSに掲載。

在オークランド総領事館

【概要】

- 日本酒がユネスコ無形文化遺産登録されたことを受け、天皇誕生日祝賀レセプションの機会に、JETROと協力し、日本酒を全面的にアピール。ヴァン・ヴェルデン内務大臣、オークランド、ハミルトン、ファンガレイの各市長、市議会議員、日本関連団体等約200名が参加。
- JETRO事業により、招待客に木枅を配り、日本酒事業者に出展してもらい、日本酒や日本の果実酒などの利き酒を実施。財務省作成の日本酒パンフレットなども配布。また、木枅とスパークリング日本酒で乾杯。総領事スピーチにおいて、日本酒を含む「伝統的酒造り」が、ユネスコ無形文化遺産保護条約「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表」に登録されたことを受けたこと等に言及した。
- 日本酒に合わせ、公邸料理人による和食（鹿児島県産和牛ステーキや北海道産帆立、抹茶ガトーショコラ等）や「日本食普及の親善大使」の成田吉司氏の和食レストランによる寿司などを提供し、日本の食文化の紹介を合わせて行った。

【結果・評価】

- オークランドにおいては日本食の人気は高いものの、日本酒や日本の果実酒については、まだまだ認知度に課題がある。今回、JETROや地元の日本酒事業者との協力により、効果的な魅力発信を行なうことができた。

